

浦幌町立博物館だより

2022(令和4)年3月号

編集・発行：浦幌町立博物館 ☎089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 / ☎015-576-2009 / ✉urahoro.museum@gmail.com

1952年十勝沖地震から70年

■十勝沖地震

「十勝沖地震」とは、文字通り十勝沖を震源とする地震のことです。これは1回かぎりではなく、歴史上、なんども起こっています。このため、一般的には「1952年十勝沖地震」のように、発生年を頭につけて呼ぶことになっています。

1952(昭和27)年3月4日午前10時22分、ひなまつりの翌日に、大きな地震が発生しました。浦幌では、当時の震度階級で震度6を記録。地震の規模を示すマグニチュードは8.2でした。襟裳岬東方沖を震源とする海溝型地震で釧路管内の厚岸町では6.5mの津波を観測しました。

全道で28名の方々が亡くなりましたが、浦幌村(当時)では、浦幌中学校の河野完爾教諭が、生徒達を校庭へ避難させたのち、体育館の下敷きとなって命を落しました。

■地震の多い浦幌・道東

1952年十勝沖地震は、浦幌の中心市街地にも大きな被害を及ぼしました。しかし、その後は1954(昭和29)年の町制施行、1955(昭和30)年の大津村東部併合などと歩調を合わせるように町の近代化を推し進



「旧しらかば保育園資料」のなかからみつかった、2003年十勝沖地震直後のスナップ写真。保育園内の被害状況が細かく記録されている。

め、見事な復興をとげました。

浦幌をはじめ、道東は地震の多い地域です。地層を調べると、およそ400年周期で大きな津波が襲来していたことも明らかになっています。こうした自然災害に、そのときどきの工夫で対応しながら、地域を発展させてきたのが、道東の歴史といえるでしょう。

■震災を語り継ぐ

過去の災害の記憶を伝えていくことは、未来の防災にもきっと役立ちます。

ニコニコこども園の開園にともなって閉園した旧しらかば保育園から収集した資料のなかから、2003(平成15)年9月26日に発生した2003年十勝沖地震の被害を写したスナップ写真集がみつかりました。当時の保育園の先生方が、災害の記録をきちんと後世へ残そうとしたことがわかります。

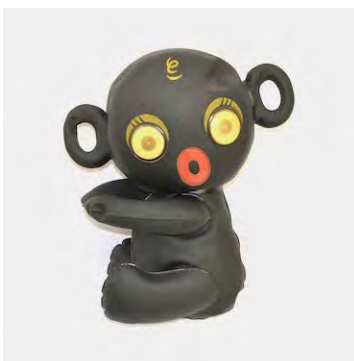
こうした災害の記録を未来へ受け継いでいけるよう、努めて参ります。

(浦幌町立博物館 学芸員 持田 誠)

「博物館の収蔵資料から

こんな資料を集めています!

だっこちゃん人形



1960(昭和35)年に、当時の宝ビニール製造所が「木のぼりウインキー」の名称で販売した人形。腕に抱きつくような形で取り付けられるところから大ブームとなり、やがて愛称の「だっこちゃん」が正式名称となったそうです。

見る角度によって、目がつぶっているように見えるレンチキュラーレンズが特徴で、大量に出回った模倣品と見分けるポイントだったとか。しかし、そうした模倣品も含め、当時の人々の心をつかんだ風俗史の資料といえるでしょう。

(浦幌町立博物館 学芸員 持田誠)

Pick up BOOK [注目の本]

図書館から

『パラリンピックからの贈りもの』

平山 譲(著) PHP研究所 四六判上製 179頁 2012年8月発行



本書は、先天的・後天的に障がいを抱えながらも自分自身と闘いぬぎ、パラリンピックという大きな場面に挑戦する選手とその支援者たちの、7つの実話が記されています。

苦難と悲しみを乗り越え、スポーツに希望を見出して挑戦し、ハンディキャップを抱えながらも前向きに生きていく様子が伝わってきます。自分のできることを、真剣に一生懸命に努力することは健常者も障がい者も同じです。

今年の北京パラリンピックは3月4日に開幕し、13日まで10日間の日程で6競技78種目が行われます。前回の東京開催でメディアに取り上げられる機会が増え、新たに知った方も多いかと思います。ぜひパラスポーツに関心を持ってみてはいかがでしょうか。[浦幌町立図書館 司書 山崎菜摘]

【配架場所】
スポーツコーナー
分類記号→ 786.ヒ

3月の博物館お知らせ

企画展

ひな人形展

2月27日(日)

3月20日(日)

10:00~18:00 場所:博物館ロビー

博物館所蔵のひな人形を展示します。



企画展

コロナな時代を語り継ぐために2022

3月1日(火)

5月8日(日)

10:00~18:00

場所:常設展示室

新型コロナウイルス感染症で変化した暮らしの記録。



うらほろスタイルゼミナール

『うらほろスタイル』から『地域をともにつくる学校』を学ぶ

なぜ教育大学が浦幌に注目するのか?

3月5日(土) 講師:宮前耕史氏
14:00~15:30 北海道教育大学釧路校准教授

入場無料 場所:博物館 視聴覚ホール
(オンライン中継もあり)

主催:浦幌町立博物館・共催:うらほろスタイルサポート

オンラインシンポジウム

コロナ禍と博物館の2年 資料の収集・展示をめぐる課題と展望

3月8日(火)

14:00~15:30

オンライン開催(要申し込み)

参加申し込みは3月7日17時まで。
詳細は右のQRコードから参照。

主催:早稲田大学演劇博物館 演劇映像学連携研究拠点



厚内公民館

厚内神社絵馬の文化財指定

3月16日(水) 講師:佐藤貴史
13:00~14:00 浦幌町教育委員会社会教育係長

入場無料

持田 誠 場所:厚内公民館
浦幌町立博物館学芸員

主催:浦幌町立博物館・共催:厚内公民館



移動博物館

春の渡り鳥観察会

3月26日(土) 9:00~12:00

集合:9:00 博物館

講師:トリおばさん

定員:8名(要申し込み)

北へ帰る渡り鳥、マガンやヒシクイ、シジウカラガンやハクガンを探しながら観察します。



入館料:無料

開館時間:10:00~18:00

バリアフリートイレ完備
車いす常備

多言語化表記には未対応

学芸員:1名配置

展示解説の申込み、レファレンス、
資料調査等は事前に電話かメール
にてお申し込みください。

3月 休館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

休館日:月曜日・祝日の翌日

31日(金)は資料整理日で休館



JR根室本線浦幌駅下車徒歩8分
帯広駅より普通列車...約1時間
池田駅より普通列車...約40分
釧路駅より普通列車...約2時間
鉄道のご利用が便利です!

【運賃】

帯広~浦幌間 1290円(片道)

釧路~浦幌間 1680円(片道)



駐車場無料

帯広市より国道38号線約1時間

釧路市より国道38号線約1時間

道東自動車道浦幌ICより約50分



浦幌町立博物館

The Historical Museum of Urahoro

お申し込み・お問い合わせ:電話 015-576-2009

〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1(図書館併設・役場となり)

E-mail: museum@urahoro.jp / urahoro.museum@gmail.com